

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	NPO 法人ミラマーレ・オペラ
公演団体名	ミラマーレ・オペラ

内容
<p>1. 生の歌声の素晴らしさを体感して頂けるよう、ワークショップの冒頭でミニコンサート(3 曲程度)を行います。</p> <p>2. 劇中では担任の先生の結婚式で、自分たちで作ったダンス付きの歌をプレゼントするため披露宴会場にやってきた教え子達という役どころで出演して頂きます。ワークショップでは、その時に歌う合唱とダンスの練習をします。この祝婚歌は覚えやすく親しみのある旋律で印象的「結婚おめでとう」という歌詞がたくさん繰り返されます。</p> <p>3. この祝婚歌がフィナーレではソリストの歌と一体となり、感動的なシーンを作り上げるのですが、歌いながら演じるというオペラの最大の特徴を体感してもらうために、火事に怯える様子や、感情が高ぶって泣き出す担任の先生を心配したりする演技も練習してもらいます。</p> <p>4. 歌わずに参加できるシーンも準備しています。戦争当時の疎開する子供達や荷役労働の手伝いをする子供達(男子生徒が適任)などを演じてもらいます。自分以外の人間になりきる楽しさと、友達や保護者、近隣の方々など多くの人に観てもらい、演ずる喜びを感じてもらえるように練習をします。</p> <p><具体的には></p> <p>a.歌うための基本である、カラダ全体を使った発声指導と、恥ずかしがらずに堂々と表現するための歌唱や演技の指導。</p> <p>b.ペアになって振り付けを練習し、歌いながら踊れるように進めていきます。</p> <p>c.演出家が作品の内容についての説明と演技の基本について解説指導します。</p> <p>d.指導員が生徒さんの登場シーンで関わりのある役を演じながら全シーンを実際の流れで行ってみます。</p>

タイムスケジュール (標準)
<p><13 時開始で凡そ 2 時間の予定></p> <p>12:30 指導スタッフが学校に到着。体育館にて準備開始</p> <p>13:00 開会のご挨拶指導員の紹介に続けてミニ・コンサート(3 曲程度)</p> <p>13:15 歌う時のカラダの使い方を中心とした発声練習、表現法の指導。合唱部分の歌の練習</p> <p>13:30 振り付けの練習</p> <p>13:50 トイレ休憩、水分補給など</p> <p>14:00 オペラ「てかがみ」についての説明と出演する生徒さんの役どころなどの説明</p> <p>14:15 実際の導線を確認しながら各シーン毎に登場から退場までを実際に行ってみる</p> <p>14:50 質疑応答と、本番当日に流れをザッと説明し、最後にご挨拶をして終了</p> <p>15:15 退校</p> <p>★ワークショップ開催と並行して制作 1 名が、体育館や控え室等の確認調査をさせていただきます</p>

派遣者数

芸術監督、演出家、歌手 2 名、ピアニストの計 5 名の指導員と 1 名の制作担当の計 6 名

学校における事前指導

演奏部分の楽譜と振付イラスト入りの歌詞(プリントアウトしたものとデータ)の他に、生徒が自分たちで練習する際の助けとなるような映像教材DVD資料を事前に送付。内容は模範演奏(合唱、振付指導、パート別の歌唱、伴奏のみ等を収録。同じモノを **youtube** にも掲載しています)と作品の理解を助ける解説等で構成されています。これら資料一式は事前に郵送で配布いたします。ワークショップ前と終了した日から本番までの期間の練習に有効活用して頂けます。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	NPO 法人ミラマーレ・オペラ
公演団体名	ミラマーレ・オペラ

演目
オペラ「てかがみ」全二幕 演奏時間は凡そ 80 分 作曲:池辺晋一郎 台本:平石耕一 芸術監督:松山郁雄 指揮:樋本英一 演出:三浦安浩 振付:三浦奈綾

派遣者数
指揮者 1 名、アンサンブル・オーケストラ 6 名、キャスト 10 名 (役者も含む)、合唱 10 名、スタッフ 15 名 (舞台監督部 3 名、演出部 2 名、照明部 3 名、音響部 1 名、衣裳部 2 名、ヘアメイク 1 名、トラックドライバー 1 名、制作 2 名)。総計 42 名

タイムスケジュール (標準)
08:00～10:00 機材、大道具の搬入と舞台設営
10:30～11:20 生徒参加のシーンを抜き出してのリハーサル
11:20～13:30 昼食と本番のための準備 (サウンド・チェック、メイク着付けなど)
13:30～15:10 オペラ「てかがみ」本番 (休憩時間 10 分程度とカーテンコールも含む)
15:10～16:30 撤収作業と希望がある場合には交流会 (別室にて 20 分程度)
16:30～17:30 清掃と現状復帰、最終確認、ご挨拶、退校

実施校への協力依頼人員
直接上演に関わる事に関しては特段必要としませんが、生徒の円滑な入退場時の誘導やその他で教員の皆さまのご協力をお願いする場合があります。ワークショップ時の打ち合わせで確認させて頂き、必要な場合には依頼をいたします。

演目解説

オペラ「てかがみ」は 2000 年に新潟県で初演されて以来、全国各地で 60 数回も上演され続けており、第一回佐川吉男音楽奨励賞、五島記念文化財団の助成金も授与している作品です。

平石耕一の脚本は昭和 20 年と 21 世紀を迎える直前の平成 14 年という二つの時代の日本を同時進行で描きますが、たいへん解りやすく構成され小学生でも十分に鑑賞して頂けます。

「オペラは演劇である」という理念を持つ、作曲家池辺晋一郎氏の作品だけあって、オペラでありながらも演劇性が強く打ち出された作品として大変に完成度が高く、オペラ歌手の歌唱を楽しみながらも、じっくりと物語に浸る事ができます。

作品はフィクションですが、綿密な調査を元に作られた台本で、広島と長崎に落とされた原子爆弾(劇中では新型爆弾と表現されています)や、空襲の恐ろしさ、戦時中の人々の疎開の様子などが迫力のある歌唱によって克明に表現されています。戦争モノに良く観られる自決などの凄惨なシーンはなく、小中学生の皆様にも近現代の日本の歴史も学びながら有意義な鑑賞をして頂けると作品となっています。

☆冒頭のシーンは披露宴会場での火事騒ぎの後に式場を学校の体育館で…という設定ですが、これを実際の体育館で上演しますので、非常にリアリティがあり、鑑賞して頂く皆様の心に残る公演になると確信しています。

<あらすじ>

今日は小学校(または中学校)教師の亮子と高校教師ジョンの結婚式です。教え子や友人に囲まれ幸せな二人。しかし披露宴の最中に式場で火災が発生。亮子の父親の勇一は燃えさかる炎に戦争当時の記憶をよみがえらせ、母親を見殺しにしてしまったあのいまわしい時代の事を娘の亮子に語ります。

亮子はこれまで父の苦悩も知らず、教え子に何も伝えてこられなかった事を悔います。ジョンの母親レイチェルは、勇一の話から戦争当時の収容所の軍医リチャードが自分の父親であることに気づき、小さな手鏡を亮子へと手渡します。この「てかがみ」こそ勇一の母カヨが軍医リチャードの婚約者へと託した鏡だったのです。

亮子は「てかがみ」に託された想いを受け止め、ジョンと二人で希望に満ちた明日に向かって歩き始めます。

主要キャストのキャラクターについて

- ★武田亮子:小学校(または中学校)の教諭。父の心の苦しみを知らずに生きてきた事で自分を責めている。
- ★武田勇一:亮子の父親。五歳の時に空襲の炎の中に母親を置き去りにしてしまった事がトラウマになっている。
- ★レイチェル・ターナー:軍医リチャードの娘でジョンの母親。
- ★ジョン・ターナー:高校の教師で亮子の婚約者。リチャードの孫にあたる。
- ★リチャード・マクベイン:アメリカ人捕虜で軍医。正義感が強く杉本監督とは常に対立するが、杉本の陰での思いやりに気づいている。
- ★武田カヨ:勇一の母親。リチャードから介抱されたお礼に彼の許嫁(いいなづけ)に殉職した夫から貰った手鏡を贈る。長岡に疎開した折りに空襲に遭い死亡。
- ★杉本監督:運送会社の監督。冷徹に見えるが、陰では捕虜の待遇も気にかけている男。後に五歳の勇一の育ての親となる。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- a.先生の結婚式にお祝いの歌を届けに来た教え子達の役として出演して頂きます。自分たちで作ったダンス付きの歌で先生に喜んでもらおうと張り切って登場します。
- b.オペラの特長である歌いながら演技をする事を実感してもらえよう、合唱部分に簡単な振り付けがついています。合唱部分は基本パターンを覚えてしまえば、3つのシーンで応用できるようになっています。
- c.歌う事が苦手な生徒さん達にも参加して頂けるシーンが用意されています。具体的には荷役を手伝う子供達と学童疎開シーン(空襲から逃げ惑う親子等々)で、母親に手を引かれて登場する子供などに扮して登場して頂きます。歌はありません。
- d.舞台上に登場しない(観劇のみの)生徒さん達も、希望があればフィナーレの大合唱を客席から一緒に歌って頂けるような参加方法も可能で、全校生徒で感動を共感して頂けます。

児童生徒とのふれあい

- 公演前と終演後の限られた時間を有効に使って、生徒達との絆を深める努力をします。具体的には客席用のフロアに養生シートの設置、椅子の配列の手伝いなど危険のない作業を手伝って頂く等。
- a.本番当日の最終リハーサル終了後はメイクアップの見学(希望があればメイク体験も)、小道具や照明、音響機材、特殊効果(映像)などの説明を受けながらバックステージツアーをする事も可能です。
 - b.本番が始まり、舞台裏で出番を待つ間には出演者同士という連帯感をベースにキャストとの交流が自然に生まれます。
 - c.終演後には舞台上でキャストと一緒に記念の撮影を行います。下校までの時間があれば、希望する生徒さんとキャストの代表数名とで別室にて交流会を開催する事も可能です。